

## 2019年度（2019.5.1～2020.4.30）の取り組み報告

組織名／団体・地域 （静岡県社会保障推進協議会） 記入者（小高賢治）

### この一年間の取り組みの特徴について

#### ① 国保料（税）の引下げと国民健康保険制度の改善の取り組み

◇事務局団体会議での方針に基づいて「県社保協国保部会」を毎月行い、県との対応などの対策などを検討しました。また「国保料、滞納・差押東日本ブロック学習交流集会」（12/22・東京）に2名参加しました。

◇県社保協として今年も（3年目）、署名「国保料（税）の引下げと国民健康保険制度の改善を求める請願」署名に取組み、10,682名の署名を県議会に提出しました。またそれに呼応して、8～10月の25条デー署名宣伝行動は横断幕を掲げて国保改善署名を行いました。

◇国保改善署名は静岡、浜松、焼津、三島でも各地域社保協が中心になって取組みられました。

#### ② 子ども医療費無料化の取組み

◇県の子ども医療費助成は、18歳（高校生年代）までに拡大（2018年10月から実施）されました。またその後の交渉（運動）の成果もあり、県は充分な額とは言えないものの静岡、浜松両政令市への助成を決め、2019年度から県での18歳（高校生年代）までの補助がされるようになりました。

◇しかし低所得世帯の方でも、いつでも安心して医療機関にかかれる完全無料化になっているのは35市町中21市町で、まだ14市町で窓口医療費500円の負担が残されたままです。

#### ③ 重度心身障害児者医療費助成制度について、障しず協を中心とした粘り強い運動もあり、浜松市では2018年10月から現物支給になりました。また昨年の県交渉では約4割の市町は現物給付化を検討する予定（県の9月の各市町に現物給付への意向調査）であることが明らかになりました。

#### ④ 年金制度改善、年金裁判支援のとりくみ

年金者組合とともに「若い人も高齢者も安心できる年金を求める」請願署名、「静岡年金裁判に勝利する会」への加盟団体の結集と連帯行動にとりくみました。口頭弁論は昨年の総会（2/16）以降は5回（3/8、6/21、10/11、12/13、2/14）行われ、「第5回静岡年金裁判を勝利する会総会」は9月8日に行われました。

#### ⑤ 生活保護制度改悪させない 静岡生存権裁判への支援

「保護基準引き下げは憲法違反」と訴えた生存権裁判も、この1年間では口頭弁論が4/4、6/20、9/12、12/12の4回開かれ、名古屋地裁勝利大決起集会（2/23）県から大型バスで参加34名が参加しました。また2018年生活保護基準引き下げの裁判（原告4名）の第1回口頭弁論（全国初）が6月19日に行われました。「生存権に係る裁判を支援する静岡の会第5回総会」は昨年4月22日に行われました。

#### ⑥ 「県民のつどい」「認知症・介護何でも相談」の記者会見で知り合った静岡新聞社の記者（社会部）から県社保協の取材の申し入れがあり、11月5日、県社保協事務所に小高事務局長が懇談（1時間30分）しました。

**学習会・共同集会・シンポジウム等の取り組みの特徴⇒1万ヵ所学習会集約は別紙報告書へ**

19年度も「実行委員会」として広く団体・個人に呼びかけ、「人間らしい生活を！いのちを守る第4回静岡県民のつどい」が約50名の参加で行われました。協賛も30団体（昨年25団体）と広がり、協賛金の協力も18団体（昨年11団体）から102,000円（昨年55,000円）が寄せられました。今回は「シングルマザーの実態と支援」をテーマに講演と分散会を行いました。今回は「シンママが大変だというのはなんとなく分かっていたが、今の状況を聞いて驚いています。最低賃金の引き上げ要求をしっかりと。できるサポートをしていきたい」「人権を大切に思わない政治のもとで、具体的なサポートに取り組んだ勇気に感動した」「『ママが幸せなら、子どもたちは絶対に幸せ』この見方、目からウロコでした。大事な視点だと思いました。実際の活動から生まれた言葉だと思った」など、参加者の半分近い人からアンケートが寄せられました。

**署名・宣伝行動、相談活動等の取り組みの特徴**

県社保協としては毎月、静岡駅地下で25条デー署名宣伝行動を昼休みの時間帯に実施。毎回5～6団体、10～10数名参加。「地域医療の拡充を求める署名」「県への国保改善署名」「後期高齢期者2割化反対署名」等を行いました。その他、消費税廃止静岡県連絡会の署名宣伝行動に参加（毎月）。

**自治体要請(キャラバン)・地方議会請願、自治体アンケート等の取り組み状況について**

静岡県への要望（障しず協）

19年11月

◎重度心身障害児者医療費助成制度を自動償還払いから現物給付に。500円の負担をなくしてください。浜松市が、現物給付を実施。

◎障害者入所施設の待機者は何人ですか⇒1025人。

入所を希望しても入れなくて困っている。必要に応じ、枠を増やしてほしい⇒国は入所施設を作らない方針で、入所施設の枠を減らさないのが、せめてもの努力。重度な方もグループホームに入所できるよう変更した。

20年3月13日コロナ対策の要望

◎就労継続支援事業所等で下請け仕事、カフェを提供している事業所などは仕事や客が少なくなり、減収になり、工賃が下がってしまいます。通常通り支払えるよう特別助成をしてください⇒県単の予算がつく。

就労継続支援B型事業所利用者安定給付金 昨年同時期4, 5, 6月工賃（限度額16285円）と今年の工賃との差額を給付するもの

◇静岡県健康福祉部との懇談・交渉

- ・新婦人県本部（2019年9月）
- ・県高齢期運動連絡会（2019年10月）
- ・大運動実行委員会（2019年10月）
- ・障しず協（2019年11月）
- ・県社会保障推進協議会（2019年11月）
- ・県商連では35自治体を訪問、滞納処分、差し替えの多いところを中心に自治体交渉をやっている。

◇自治体アンケートについては35市町に郵送し、結果を各市町・各団体・共産党議員に返している。

◇自治体要請キャラバンについては県社保協加盟団体では行っているが、県社

保協としてはできていない。	
<b>議員要請行動について(国会議員、地方議員等)</b> 県民医連では、介護ウェブの運動として、県保険医協会も国会要請行動を数度にわたり行っている。	
<b>その他</b>	
<b>署名集約(取り組んだ署名を記入ください)</b>	<b>集約数(筆数)</b>
① 「国の責任で社会保障の拡充を求める請願署名(25条署名)」	763
② 「介護改善署名」	417
③ 「後期高齢一部負担金2割化反対署名」	5071
④ 「年金改善署名」	7963
⑤ 「生活保護改善関連署名」	220
⑥ 「保育改善署名」	
⑦ 「424共同・地域医療署名」	601
⑧ 「消費税関連署名(増税反対・5%減税)署名	1600
⑨ 「憲法改悪反対署名」	5643
特別養護老人ホームあずみの里裁判	144
新婦人秋の行動 社会保障	4336
介護保険障害福祉サービスにおける負担軽減を求める署名 国保料(税)の引下げと国民健康保険制度の改善を求める請願	1030 10682
<b>2019年度内に結成した地域社保協</b>	
結成年月日( ) 名称( )	
結成年月日( ) 名称( )	
結成年月日( ) 名称( )	
<b>結成予定の地域社保協</b>	
結成予定日( ) 名称( )	
結成予定日( ) 名称( )	
結成予定日( ) 名称( )	

**※締め切り 8月17日(月)とします。**

**※議案書作成、大会資料にも活用しますので締め切り厳守でお願いします。**

**※代表アドレス・k25@shahokyo.jp へ送信ください。**